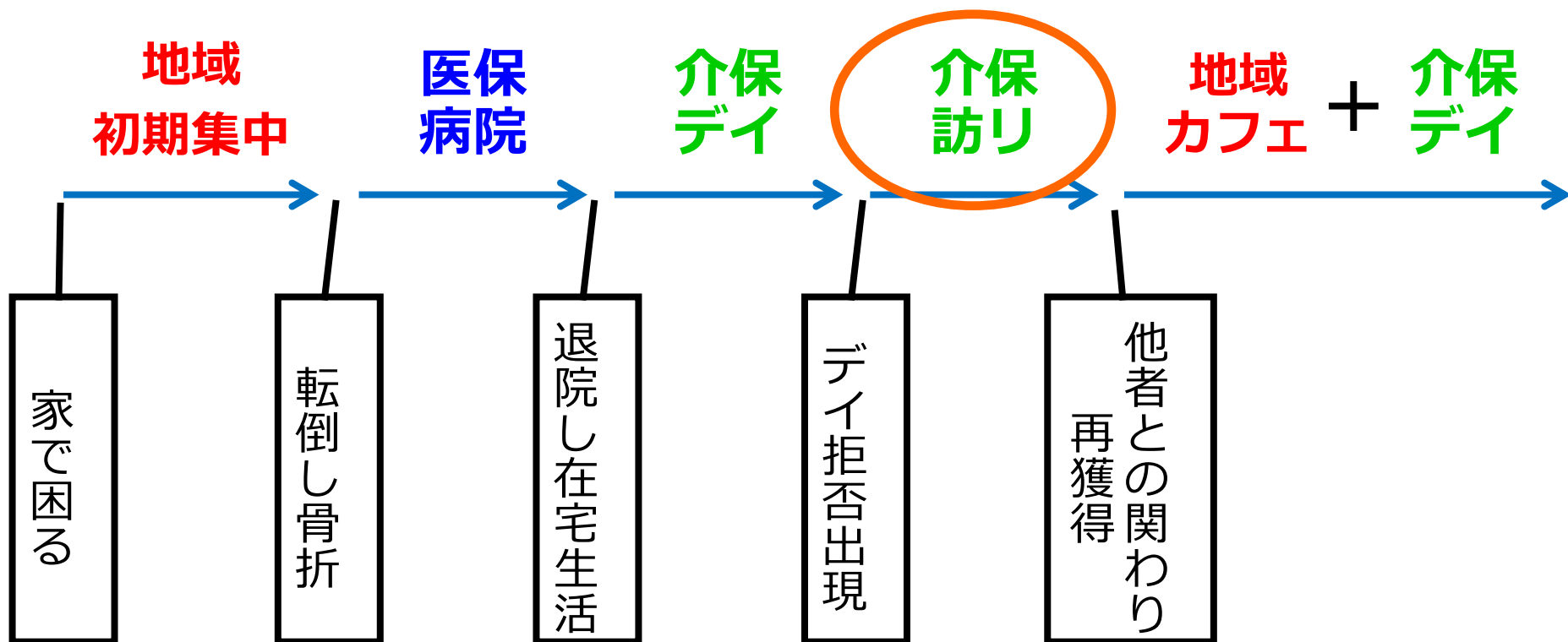


DS拒否～地域へ

暮らしを広げるためにできること

経過

状態の変化に合わせ、様々なサービスが介入する。



経過

デイサービスの拒否から在宅。

- ・伝わり歩行自立～見守りレベル
- ・排泄時に失敗がありパット必要
- ・入浴は拒否傾向で、夫にも怒るように
- ・玄関にある郵便物を拾うなどの様子はみられる

夫の介護負担が強くなり、介護指導も含め
訪問リハの利用開始する。

DS拒否・・・どうしたらいいか・・・



夫



ヨシコさん



通所介護

ケアマネージャー

頼りにしていたDSに行けなくなってしまった・・・

夫にも怒る・・・八方塞がりな生活

不安や困惑を抱えている夫婦の在宅生活に向けて、

私たちが出来ることは？

症例経過 – 基本情報–

DSに通えなくなってきたからの変化・・・

認知症疾患	アルツハイマー型認知症（やや高度FAST 6）
身体疾患・機能	やや太り気味 前傾姿勢 筋力・体力の低下
中核症状	・記憶障害：夫がわからない時もある ・見当識障害：家の中をウロウロする ・判断力低下：暴言や急に席を立つ ・遂行機能障害：食事をしていても止まることあり ※ 玄関の郵便物をもってくることはできる。
行動心理症状	・睡眠障害：日中ウトウトすることが多い。 ・易怒性：夫や他者が話しかけに対して怒ることがある。（訪問したOTには笑顔で挨拶→表情強張る） ・興奮：トイレに行った後？などで落ち着かない様子がある。

症例経過 – 基本情報–

生活障害	・ 屋内はふらつきあるが、伝わり歩行ができる。 ・ 食事で動作が止まることがあり、声をかけている。 ・ 入浴は拒否あるが、週1・2回シャワーで対応。 ・ 外出時は着替えるが、ほとんど外出しないため、あまり着替えない
社会的状況	・ 夫は、今まで上手く関わっていたが、怒ってしまうヨシコさんに上手く対応ができず、支援や服薬も自己流になってしまう。 ・ 熱心に関わりたい気持ちはあるが、周囲に頼れていない。また、疲労感もあり、苛立ちもある。 ・ 長男夫婦は、休みの日にトイレ介助など対応するが、積極的には介入していない。

暴言・興奮の裏には？



- ◆ トイレの場所を忘れてしまう（記憶障害）
- ◆ トイレの位置がわからない（見当識障害）
- ◆ 排泄動作がわからなくなる（失行）



- ・ 羞恥心
- ・ 自尊心の低下
- ・ 自信の喪失



- ・ 他者への被害妄想
- ・ 暴言
- ・ 攻撃的

しかし・・・ヨシコさんがトイレを
失敗だけだろうか？

夫の在宅での苦悩・・・



- ・ 夫自身が落ち込んでしまった
- ・ 排泄支援の仕方がわからない
 - ・ 家族に頼れない
 - ・ 疲労困憊

1人で解決・・・

結果

- ・ 自己流 → 支援の悪循環
- ・ ケアマネ拒否 → 生活状況が不明
- ・ 夫の心理、精神面の不安定 → 関わりの減少

実際に訪問をすると・・・

初回の顔合わせの様子



ヨシコさん

「こっちに来ないでください！」

「汚い！」
「臭い！」

しかし、お茶を飲んだり、手紙を手にとったり・・・

「話を聞きながら少し強引に・・・」



夫

夫なりの援助もタイミングが合っていない？

夫なりに頑張っている介護生活 ・・・その支援に対して

生活の課題

- 夫がBさんのできること・良い反応に気づけていない
- ヨシコさん自身のトイレへの不安
- 生活の様子が不明瞭、悪化



夫



ヨシコさん



在宅の様子・
生活習慣

出来ることからやってみよう

安心で心地よい夫婦生活のための支援

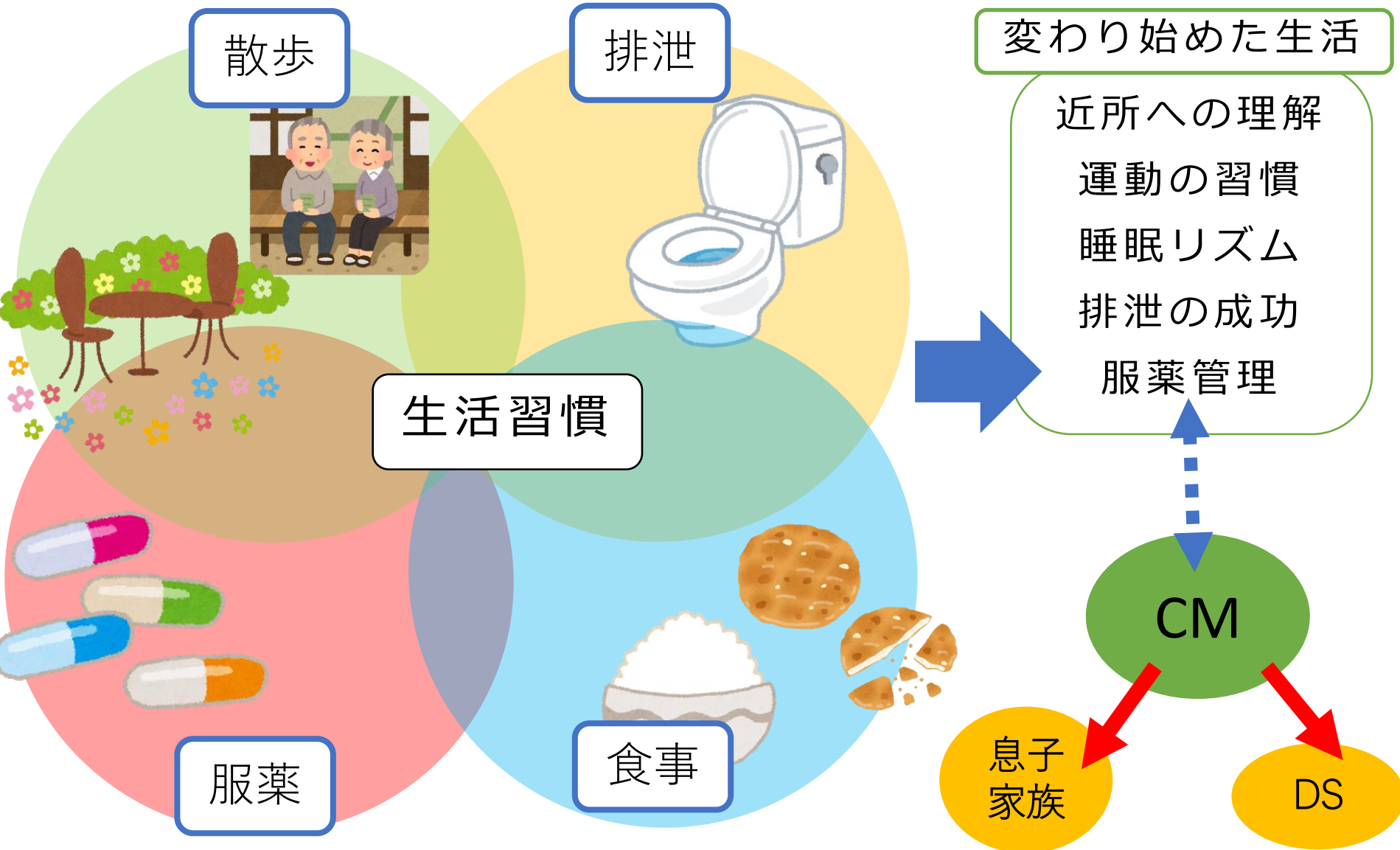
- 夫の関わり方を考える・伝える
 - ヨシコさんとOTとの関わりの中で、良い関わりやBさんが出来ることなどを共有し、気づいてもらう
- ヨシコさんの生活習慣・状況を見直す
 - 睡眠や食事内容、排泄時の状況等の聴取や助言をし、トイレ環境の整備や散歩などの今の生活からやれることの提案
- 夫へのフォロー
 - 夫への介護指導を行う中で、夫の価値観の尊重や心理的な面へのフォロー

ポイント！今の生活を無理矢理に変えない！

夫の関わり方を考える・伝える ～気づきの支援～



ヨシコさんの生活習慣・状況を見直す ～生活習慣への支援～



「排泄」へのアプローチ ～関わりへの支援～



排泄

- ◆ トイレの場所を忘れてしまう（記憶障害）
- ◆ トイレの位置がわからない（見当識障害）
- ◆ 排泄動作がわからなくなる（失行）

排泄のサインが上手く出せなくなる

サインに気づけず

失敗

OT

- ・ 排泄時間
- ・ 「無言」というサイン
- ・ 方法、タイミング

成功

「排泄」へのアプローチ ～環境への支援～



排泄

- ◆ トイレの場所を忘れてしまう（記憶障害）
- ◆ トイレの位置がわからない（見当識障害）
- ◆ 排泄動作がわからなくなる（失行）

移動～排泄動作の分析

できるような
ポイント
・ 動作や認知面

- ・ トイレのドアを開放
- ・ 蓋を開けておく
- ・ トイレまでのみ手すり

成功

ポイント！
環境の工夫だけでは不十分
介助・環境の活かし方を
夫に理解してもらう

在宅支援で期待される役割

◆利用者・家族

- ・利用者への直接的な支援（介護指導、環境整備、作業活動）
- ・利用者との関わりを通じた間接的な支援（支援の仕方の理解、周囲の理解）
- ・実際の生活場面でのアセスメント（本人、家族、環境、生活リズムなど）

◆環境・地域

- ・他職種連携（主治医、CMやDSスタッフなど他スタッフとの情報共有など）
- ・インフォーマル、フォーマルのサービスの把握

訪問リハでの支援のまとめ

不安な在宅生活から安心して暮らせる在宅生活へ

- キーパーソンである夫の気づきを増やしていく関わり
- 重なり合う「生活」を把握し、「少し」できることへの支援・指導
- 夫の趣味や価値観も大切にし、夫も含めた支援をCMと一緒に考える

